



Success! Weekly Letter

売上高・利益ともに大幅増、フィットイージー3Q決算を発表

フィットイージー株式会社				
2025年10月期 第3四半期 業績ハイライト				
[FIT-EASY]				
3Qでは15店舗を新規出店し、売上高は前年同期比145.4%の68.8億円を計上 - 売上高の伸びにより、営業利益は同148.8%の17.7億円、経常利益は同152.9%の17.7億円、四半期純利益は同154.1%の11.8億円を計上 - FC店の会費入金売上を含めたチェーン全体売上としては142.8億円				
売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	チェーン全体売上
68.8	17.7	17.7	11.8	142.8
億円	億円	億円	億円	億円
前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比
145.4%	148.8%	152.9%	154.1%	74.0%
出典：フィットイージー株式会社2025年10月期第3四半期決算説明資料				

アミューズメントフィットネス「フィットイージー」を全国展開する株式会社フィットイージー（以下、当社）は9月12日、2025年10月期第3四半期決算（2024年11月1日から2025年7月31日まで）を発表しました。ここでは、その内容の要約をお知らせします（当社2025年10月期第3四半期決算短信および同決算説明資料より一部抜粋）。

フィットイージーは、2025年10月期第3四半期（2024年11月～2025年7月）において、**売上高 68.8 億円（前年同期比＋45.4%）・営業利益 17.7 億円（＋48.8%）・経常利益 17.8 億円（＋52.9%）・純利益 11.8 億円（＋54.1%）**と、前年を大きく上回る高成長を達成しました。

4月に200店舗達成後も出店攻勢を継続し、7月末時点で218店舗・会員数197,038人（8月に20万人達成）・1店舗あたり904人（前期末比＋8.7%）に拡大。同社は、アミューズメント要素（ゴルフ・酸素ルーム・サウナ・セルフエステ等）を備えた独自の「アミューズメントフィットネス」業態を全国展開し、差別化と会員満足向上を推進しています。

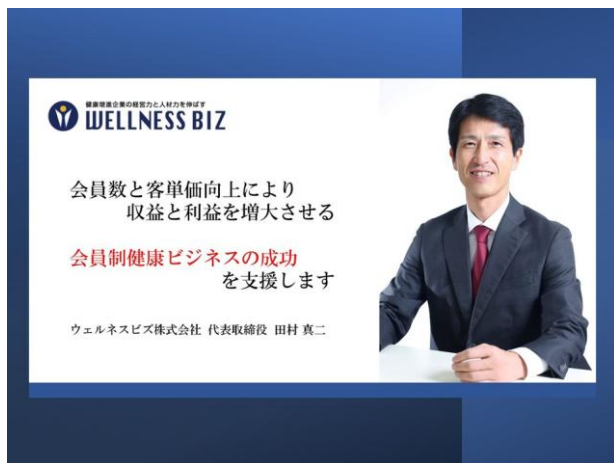
また、BI ツール（Business Intelligence／経営・意思決定支援ツール）を活用したデータ経営により、①退会率を独自に管理・抑制し、②会員一人ひとりの行動や属性を個別に把握・分析して顧客満足向上や LTV の最大化に取り組み、③キャンペーン効果を定量的に把握して次に活かし、④店舗運営の最適化を図ることで、安定的な会員基盤の形成に成功しています。

財務面では、総資産 71.4 億円（前期比＋12.7 億円）、純資産 38.4 億円（＋8.7 億円）、自己資本比 53.8%と、成長に伴い財務基盤も着実に拡大しています。通期予想（売上 92 億円・営業利益 22.1 億円）に変更はなく、好調な進捗を示しています。

同社は「アミューズメント要素」を組み込むことで、価格競争に陥りがちな 24 時間ジム市場で「**体験価値による差別化**」戦略を打ち出し、1店舗あたり会員数の向上と退会率低下を実現しています。このモデルは設備投資負担が大きい一方で、会員数と客単価を同時に高められる点が強みです。

今後の成長に向けては、①出店ペースの最適化（急拡大による運営リスク抑制）、②ブランド体験の一貫性確保、③データ経営を活かした LTV 最大化（継続・アップセル・紹介）が鍵となるでしょう。フィットイージーの戦略は、「安さ」ではなく「楽しさ」で選ばれるジムという独自のポジションを確立することで、24 時間ジム市場で価格競争を超える新たな成長モデルを示しています。

本日も最後までお読み頂きありがとうございます。
それでは次号をお楽しみに！



会員制健康ビジネスコンサルタント。ウェルネスビズ株式会社代表取締役。東京都出身。イオンで22年間、フィットネスと小売事業の現場および本社で様々な職種に従事した後、2007年に同社を退社。同年、会員制健康ビジネス領域で事業展開する中小・ベンチャー企業の経営不安を丸ごとサポートするコンサルティング会社を設立。会員数拡大、客単価向上、継続月数増を掛け合わせた「儲かる事業構築の仕組み」導入により、全国各地に高収益企業を多数生み出している。現在は、コンサルティング、講演、セミナー、執筆活動等を行っている。

お問い合わせ先

ウェルネスビズ株式会社

お問い合わせ先:<https://www.wellness-biz.jp/contact>

会社URL :<https://www.wellness-biz.jp>

TEL:03-4530-6263

FAX:03-3562-7822

〒104-0061

東京都中央区銀座1-3-3

G1ビル7階 1180号

免責事項

このニュースレターで提供された情報およびアドバイスによって起きた問題に関しては一切、当方やライターに責任や義務は発生しません。ここでの情報や助言を参考にした判断は、当然ですが、すべて読者の責任において行ってください。